



みやびの杜便り



まだまだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。先月も子ども達の体調管理や感染症拡大へのご理解・ご協力を頂きありがとうございました！
らっこ・ペンぎん・いるか組は氷や水の感触を楽しむ機会を多く持ち、夏ならではの楽しみをたくさん感じていました。また・くじら組は夏まつりへの取り組みである製作活動に興味・関心を持ち、花火製作を楽しんでいました。また絵の具によるお花の表現も夢中になって取り組んでいましたよ♪残念ながら夏まつりは再び延期となってしまいましたが、その子ども達のアイデアや気持ちのこもった看板などが増えていますので開催される日を楽しみにしててくださいね♪

職員研修 10・24日「カウンセラー研修」…園長

17日「今絵本と物語の力を学ぶ」…全員・20日「小児救急」…宮城

- ・9月1日防災の日…自分たちが日常で経験した地震や台風などの災害で、驚いたことや困ったことを話し合う。防災訓練に参加し安全に避難することや命を守ることの大切さを知る。
- ・9月20～26日動物愛護週間…身近な動物との触れ合いを通して、動物と仲良くすることや命を大切にすることを知る。また動物の生態を知り、飼育することの責任や難しさを話し合う。
- ・9月19日敬老の日（休園）…自分の周りにお年寄りの事を考え、今まで働いてくれたことに感謝の気持ちを持つ。また「体が不自由なお年寄りに手助けすることの大切さを知る。
- ・9月23日秋分の日（休園）…季節の変化を感じたり、秋分の日が昼夜の時間が同じ長さである日ということを知る。
- ・9月10日十五夜…秋の夜は月が美しく輝くことを意識し、昔からお月さまを見ながらお供えのお団子やススキを飾る習慣があったことを知る。



雅福社会 みやびの杜保育園 法人理念

- 一、生命の尊厳と人間愛を基本に子どもに奉仕
- 一、子どもの最善の利益と質の高い教育保育の提供
- 一、地域との連携を図り社会貢献
- 一、感謝と支え合いを礎に職員の幸福を目指す法人運営

ホームページ

<http://miyabinomori.jp>

TEL: 098-941-5580

FAX: 098-917-5198

令和4年8月31日 社会福祉法人雅福社会みやびの杜保育園

お知らせ・お願い

- ・朝のお忙しい時間の中、健康チェックカードの記入をありがとうございます。今月も水遊び等ありますのでご協力をお願い致します。
- ・8月25日に保育士の子どもへの声掛けの中に不適切と感じる場面が見られるとご意見がありました。そのためすぐに職員と日頃の言動を振り返り「子ども達を守り、尊重していく」ということについて話し合いをもちました。今回の事をきっかけに再度気持ちを引き締めて子ども達一人ひとりを大切に楽しく園に通ってもらい、保護者の皆様に安心してお仕事に行っていただけるように、職員一同努めて参ります。貴重なご意見を頂き心より感謝申し上げます。引き続き職員教育を行って参ります。
- ・第3土曜日の午後の時間を園内消毒や職員研修などの時間にあてさせて頂きありがとうございます。お仕事などの際には通常通りお預かり致しますので、その際はお声がけください。8月は園内外の掃除・消毒・職員会議・園内研修に充てさせて頂きました。ありがとうございました！
- ・お食事の食材発注の関係で土曜日登園について、その週の月曜日に確認させて頂きます。
- ・平日のお休みの場合は、8時半までに連絡をお願いします。
- ・現況届の提出日を考慮して、年間行事予定表に20日～30日までの日程で予定していた4歳児（小さいくじら組）の個人面談を、1日から9日へ変更いたします。詳しい日程に関しましては担任よりお知らせいたします。
- ・コロナ感染拡大防止のため、9月17日（土）に予定していたお招き会は中止とし、子ども達が製作したものをプレゼントできたらと思います。
- ・10月15日（土）には運動会を予定しています。安謝小学校体育館にて行いますので、楽しみにしててくださいね♪詳しくは後日お知らせいたします。
- ・17日（土）に2部制に分けて夏まつりを行う予定です。詳しくは後日別紙にてお知らせいたします。
- ・19日（月）は敬老の日のため休園、23日（金）は秋分の日のため休園です。



研修報告

「3 歳児の発達と保育」 安里広美

「3 歳児の姿を一言で表すと？」

- ①乳児から幼児へ(3 歳児といえども、前半はまだ乳児)保育士に自分の存在・私を見て！アピール
- ②『大きくなったでしょ！』誇り高き 3 歳児・自信マンマン！褒めてほめていっぱい自信をつけていく時期！でも中身は伴わないのが実に 3 歳児らしいです。
- ③ 大人からのちょっとだけの自立・自分でできることがほこらしくて、`みてみて` `自分で出来た`と見せにやってくる姿もいっぱいあります。でもまだ、`できない` `やって`という姿もあります。

3 歳児の発達(自我)

□自我の拡大と自我の充実

- ・自分の思いだけでなく、自分の物や場所が大事になり、「自分のもの」を強く意識するように
 - ・じぶんのおもいがしっかりとうけとめられた先に、相手の思いがあり、大事なもののや場所があることの気づき 友達にしてあげられる自分が誇らしく、自分が大好きな姿
- 「誇り高き 3 歳児」「イッチョマエの 3 歳児」から「振り返り始める 4 歳児」へ
- ・なんでも自信満々に意欲的な姿から徐々に客観的に自分を見るようになり、活動に苦手意識を持ち始める。・本当に自分(や友だち)はすごいのかを考え始める。「良い・悪い」「上手・下手」「できる・できない」「勝ち・負け」を正確にわかる分、それにこだわる。

- 「人と自分を比べる基準」や「こうありたい理想の自分」を持つようになる。ただし、その基準は「できるーできない」「上手ー下手」であったり、『絶対に～しなければならない』といった極端なものになりがちなため、「できない自分」を強く感じやすくなる。



3 歳児の発達(身体のコントロール)

□2 歳児クラス(～3 歳前半)

- ・斜めの姿勢(足で踏ん張る動き) 大きく一小さく、高く一低く・・・など、姿勢を変化させ、全身を周囲の環境に合わせて動かす経験・指がバラバラに動く、指先に力を込める。・手首を回転させる。

□3 歳後半頃～「～しながら・・・する」という、同時に 2 つの異なる動きへの挑戦

- ・ケンケン、三輪車をこぐといった全身運動やのり付け、はさみの捜査のような手指の細かいコントロール
- ・粘土、色紙を折る、色を塗るなどの遊びの中に確かめながら・・・という姿が増える。

3 歳児の発達(認識と言葉)

- 対比的認識(比べる力)・「これ何?」、「なんで?どうして?」・大人と共に話す経験を通してコミュニケーションと考える力を培う

□「言動不一致」の 3 歳児

『わかっていてもうまくいかない』言葉と行動の不一致が起こりやすい時期

- 4 歳後半ごろまで・『わかっていてもうまくいかない』言行不一致な時期
- 4 歳後半～・「やりたいけど、できない、でもやりたい」と自己内対話しながら自分を励ましていく自制心(自励心)が作られていく。

3 歳児の発達(子どもどうしのつながりの変化)

□保育者との安心感を土台に友達と関わる。

- 「仲良し探し」を支える大人のかかわり。□友達と関わる機会や環境を考える。

□ペアやグループを意識した活動。□ぶつかり合いが起こりやすい

友だちとのかかわりの中で育っていくこと

- ① 友達を心の支えに、友達の気持ちの理解。・友達と関わって、気持ちを立て直す経験
- ② 子供たち対保育者の遊びの盛り上がり・大人とは異なる「自分たち」として、クラスの集団を意識し始める。

□前半期 ・遊び、散歩、給食などの日々の活動、誕生日会、プール、遠足などの行事を通して「みんなでやったね～」が積み重なってくる。

□後半期 ・それまでの取り組みの積み重ねや行事(運動会)を通して「みんなで」「〇〇組のみんなで」という気持ちが高まる。

